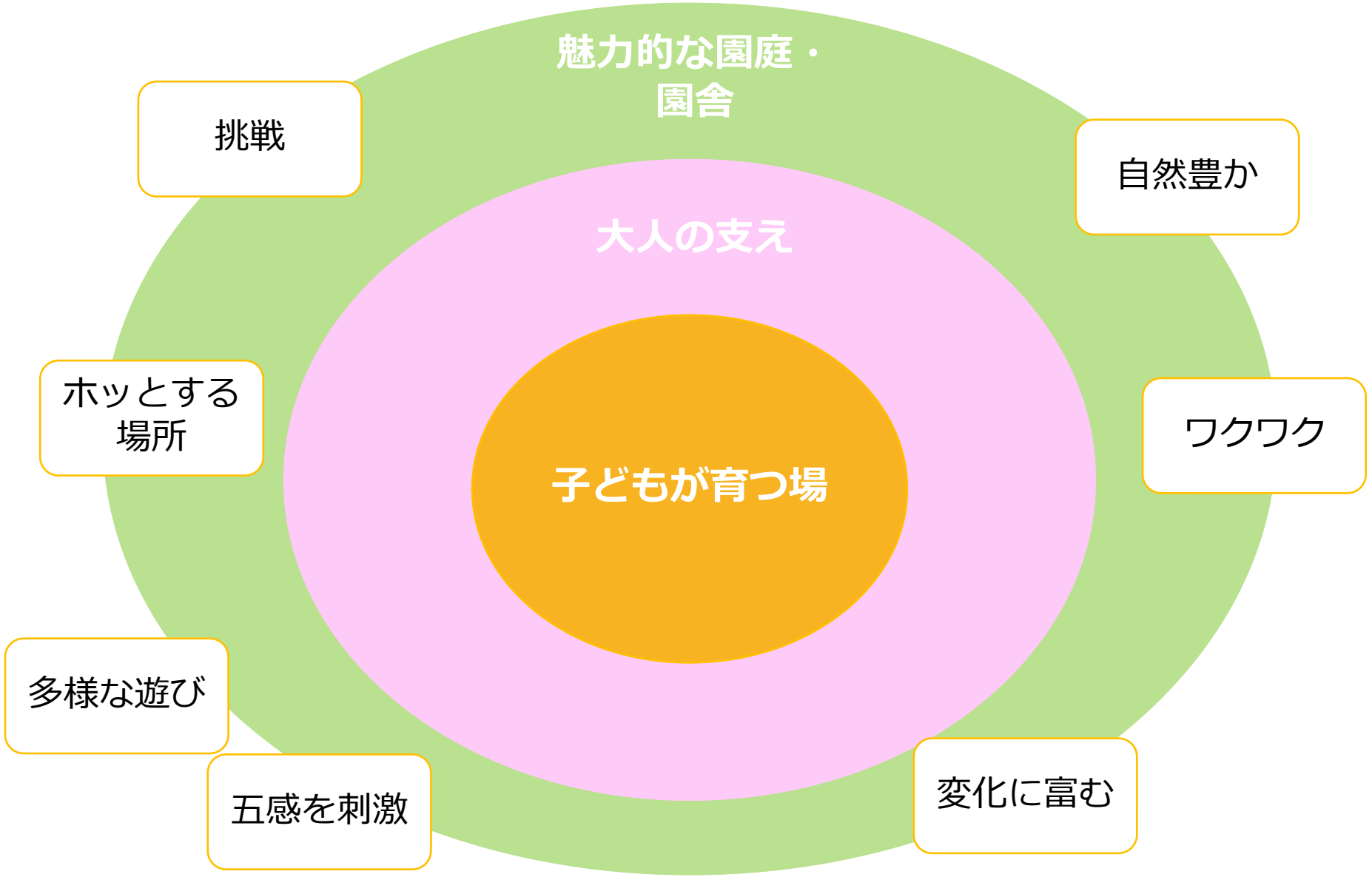
園庭改造・園舎改築について

子どもにとっても、大人にとっても魅力的な場所へ

園舎・園庭の改善にあたって



園舎改築・園庭改造にあたってお伝えしたい園の想い

- 　せいこうの考える園は、「大人が」子どもを育てる場ではなく、**「子どもが育つ場」**でありたいということです。子ども達によって良い環境とは、子ども達自身の育つ力が十分に発揮でき、「あなたらしさ」が溢れる場所。ワクワクや自然を感じ、自由に探究したり、何度も挑戦したりホッと落ち着ける場所があり、大人たちが子どもの育ちを支えていく、そんな環境が「子どもが育つ場」なのだと考えます。もちろん、園の大人たちによる子どもへの関わりも欠かせません。日々子どもたちの育ちを支える職員は、聖光幼稚園の一番の魅力だと信じています。
- 　幼稚園は子どもが主役です。今回の園庭改造・園舎改築という子どもの環境改善によって、子どもの視点に立った「ワクワク」や「やってみたい」をもっともっと増やしていきたいです。子どものワクワクに満ちた幼稚園はきっと大人にも魅力的なものになると思います。

新しい園庭のコンセプト

子どもの世界を園庭に

- 自然の中で、ふれて、きいて、みて、かいで、そだてて、たべる

豊かな自然環境で、五感を全開にすることで体と心がつながる体験を積み重ねていく

- みんなそれぞれの遊びと場所が見つかる

道草、寄り道、気の向くままに。名もない遊びと居場所があふれる場所

- つくって、こわして、またつくる

何度も挑戦・探求したいもので満ちている。変化がある園庭が新しい挑戦と探求を創り出す。

「怪我」についての考え方

- 子どもが活動する　＝　怪我の発生リスク
- 小さなか怪我から大きな怪我を防ぐ

「怪我」という経験を通して、様々なことを子どもたちは感じ、学んでいく。

- どんな行動が怪我につながるのか
- 怪我はどう治っていくのか
- 「痛い」「つらい」「かなしい」はどうなるのか
- 挑戦した先に怪我があっても大人の支えがあること　など

園庭改造のスケジュール

２０２５年度 → ２０２６年度 → ２０２７年度

マスタープランの作成

子どもの様子などに合わせて随時アレンジ

一旦の完成

第１期工事
（冬季）

第２期工事
（春季・夏季）

第３期工事
（未定）

子どもの様子を見て、随時、環境構成

園舎改築のコンセプト

- 子どもにも大人にも魅力的に

自園調理室

保育室の整備

地域の方の利用

働きやすい環境

- 老朽化への対応

外壁の修繕

- 安全性

セキュリティ

事故防止

園舎改築のスケジュール

２０２５年度	２０２６年度	２０２７年度
計画・行政との調整	工事（夏開始予定）	新園舎での運用開始
国からの内示 （４月ごろ）		

※　国からの内示が下りない場合は、再度計画を練り直します。